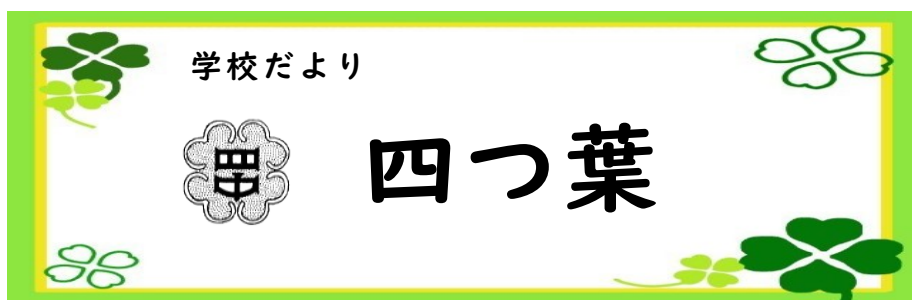




令和6年11月5日(火)

第7号

調布市立第四中学校

校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu4/>

すてきな一日でした

校長 佐藤 政彦

10月23日(水)、令和6年度合唱コンクールが成功裏に終わりました。今年は、音楽祭から合唱コンクールへと名称を変更し、課題曲を合唱に戻し、学年合唱を加えました。当日は、練習の成果が充分に発揮され、魂のこもった歌声で多くの人に感動を与えてくれました。

コンクール形式なので順位はついてしまいますが、採点はあくまでも当日だけの評価であり、それまでの取組過程や成長段階を評価するものではありません。どのクラスも、いくつもの葛藤を乗り越え、当日の感動的な合唱が生まれたことと思います。賞が取れなくても下を向くことなく、みなさんが頑張ってきたことや成長できたことは、賞賛に値します。みなよくやりました。合唱コンクールで得た達成感や充実感を、これからも得られるように、何事にも手を抜くことなく全力で取り組んでいきましょう。さわやかで熱い合唱コンクールでした。



保護者の皆様、当日はお忙しい中、多くの方にご来場いただき感謝申し上げます。皆様からは、数々の温かいお言葉をいただき、生徒ともども教職員も大変励みとなりました。これからも、生徒一人一人が輝き豊かな心を育む学校を作り上げていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



“木の命を未来へつなぐ はじめの一步”

今月から、校庭の樹木園の整地と希望の丘の撤去工事が始まります。慣れ親しんだ場所が、無くなってしまうことはとても寂しいことです。そんな折、『街の木ものづくりネットワーク』の方から声をかけていただき、伐採される木を活用して学校の備品や木工品を作ることや、樹木園に芽生えている苗木を移植し木々の命をつなぐことなどの提案をいただきました。着工が迫る中、何ができるかを検討する間もなく、まずは、木の命を救うためにアクションを起こすことにしました。11/1(金)、急遽面談で時間が空いていた3年生に移植の手伝いをお願いしたところ、30名近くが集まってくれました。土まみれになりながら、作業は1時間半程で終わり、無事たくさんの命を救うことができました。愛校心あふれる行動に感謝・感激!!



笑顔のために①：「笑顔と学びの体験プロジェクト」

東京都教育委員会は令和4年度に「子供を笑顔にするプロジェクト」という事業をスタートしました。これは当時、コロナの影響を諸に受け、修学旅行、合唱コンクールなどの学校行事の中止、縮小など、制限のある学校生活を送り、仲間と笑う場面の減った子供たちを笑顔にしようというプロジェクトでした。それを引き継ぐ形で、令和5年度から都内の公立学校を対象に多様な体験活動の機会を提供している「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」があります。

今年は、10/15（火）の5時間目に、ソプラノ歌手：
さん、ピアノ： さんを講師に招き合唱指導をしていただきました。合唱コンクールを10/23（水）に控えており、生徒の関心も非常に高く、本物の“歌”に触れることで心を揺さぶられるような時間となりました。



笑顔のために②：「小中交流合唱」

巻頭言の通り、10/23（水）に合唱コンクールが実施され、多くの感動がありました。その翌日である10/24（木）朝、小中連携の一環として、本校1学年の最優秀賞クラスである1年4組が若葉小学校（1～3年の児童が若葉小体育館に待機）へ、そして、2・3年生の最優秀賞クラスである2年3組、3年3組は本校体育館にて若葉小学校の4～6年の児童を招いて、合唱を披露しました。朝とはいえ、十分な声量と小学生とは違った声質、ハーモニー、そして先輩としての思いがしっかりと若葉小の児童に届いた素敵な時間となりました。



笑顔のために③：「若葉の杜の音楽会」



10/19（土）若葉小学校で若葉学校地区協議会主催の「若葉の杜の音楽会」が行われましたが、四中からはダンス部、吹奏楽部が参加しました。他にも、バレエを発表した四中生、そして合唱を披露した四中PTAの方々の姿もありました。小学生や地域の方々からたくさんの拍手👏を頂き、参加された多くの方が芸術の秋を満喫した時間となりました。



『幸せのクローバー ♣ 見つけ“隊”』

巻頭言の通り、11/1（金）に“木の命を未来へつなぐプロジェクト”を実施したわけですが、急なお願いにも関わらず、主事の さんをはじめ、何人かの先生方も関わってくれました。生徒の愛校心溢れる行動もさることながら、「自分たちの学校」という認識をもって一緒に活動してくれる周りの大人にも感謝です☆

